

2026年10月22日
西日本旅客鉄道株式会社

嵯峨野線・奈良線 冬の混雑緩和に向けた対応について

嵯峨野線・奈良線では、年末年始をはじめ、冬の実業シーズンの多くのお客様のご利用が見込まれることから、これまでの多客期に引き続き、臨時列車の運転を行うとともに、一部の列車の両数を増やして運転します。今後も、お客様のご利用状況にあわせた混雑緩和や利便性向上に取り組んでまいります。

1. 嵯峨野線

臨時列車、両数を増やす列車

日 付	臨時列車	両数を増やす列車
12/28(月)	10 本	44 本
12/5(土)・27(日)		52 本
12/4(金)・29(火) 2/12(金)・22(月)・26(金)	—	44 本
12/6(日)・12(土)・19(土)・26(土) 1/2(土)・3(日)・9(土)・23(土) 2/11(木・祝)13(土)・14(日)・20(土)・21(日)・27(土)		52 本

※本数は1日あたり

※両数を増やす列車は、4・6両編成の列車を6・8両編成に変更します

※沿線イベント開催時や車両運用上の都合により、上記の本数を変更する場合があります

2. 奈良線

臨時列車、両数を増やす列車

日 付	臨時列車	両数を増やす列車
1/1(金・祝)・2(土)・3(日)	12 本	16 本

※本数は1日あたり

※両数を増やす列車は、4両編成の列車を6両編成に変更します

※沿線イベント開催時や車両運用上の都合により、上記の本数を変更する場合があります

今回ご案内の取り組みは、SDGs17のゴールのうち、特に11番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

